



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No. 1 0

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、 (レイ・クリンギンスミス会長)

inashore@athena.ocn.ne.jp

2010-2011 年度 会長 山本武夫 、幹事 助田幸雄

2010-2011 年度 RI テーマ



「地球を育み、
大陸をつなぐ」

例 会 記 録

第 1 5 4 0 回例会

平成 2 2 年 9 月 1 5 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング 四つのテスト
3. ゲスト:卓話「漫画家になって」森みちこ氏(紹介者:横山幹会員)



4. ビジター:北島芳信君(南砺 RC)
5. 会長の時間:ゲストの森みちこさん、本日はようこそ、後ほど卓話をよろしく願いいたします。森さんとは、個人的には、以前、子育てフォーラムで一緒にパネリストをした経験があります。ビジターの北島様、ようこそ、ごゆっくりと。

本日の北日本新聞に 1 8 日から 2 6 日まで開催される「寺のまち アート in いなみ」の記事が 1 面全面に掲載してありました。『門前町、芸術一色に』と、①「欄間ウォーク」②「庭園解放」③「現代アート展示」を 3 大イベントとし、それ以外にもいくつかのイベントを準備しているとありました。地元でのイ

ベントですから、是非行ってみたいと思います。先日も、県内の友人を、木彫りの里・瑞泉寺に案内したら、こんないいところが井波にあったのかと喜んで帰りました。大勢に喜ばれるといいですね。

今年度のテーマの健康にちなんで、昨日、私がお昼に不注意にも、うっかりあるものを食べてから、午後ずっとのどの調子がわるく、息もしにくい感じ、ものを飲み込むのも痛いし通りにくい感じで、大変困りました。何のことはない、のどを火傷したのですが、この口蓋垂(のどちんこ)や扁桃腺は、大変大事で、うまく機能しないと、誤嚥や食事接種不全などを起こします。皆さまも気をつけましょう。

6. 臨時理事会(8日)報告・幹事報告(代理:山本会長):
本日は、幹事は議会、副幹事は旅行中で、会長の私が代理で報告します。まずは、先週の臨時理事会から。
①菊林会員から、8月中旬に退会したい旨話がありましたが、9月に入って届出が出ました。事情もあり、承認しました。
②「明るい社会づくり砺波圏民会議」に RC 会長が参与で参画依頼、年会費 3000 円、趣旨には賛同できるので、受けることを承認。
③次週、国際親善奨学生候補者の楠本さんが来会し、スピーチされます。その時に激励金をお渡しすることを承認。
④会員入会勧誘用パンフを新たに購入することを承認。
幹事報告については、①米山財団の普通寄付も昨年度下半期(2010 年 1 月～6 月分)から、税制優遇措置の対象となりました。寄付金控除を受けられますので、財

団事務局に申請します。特に必要のないといわれる方以外は、すべて申し込みます。②ロータリー財団地区補助金申請については、当クラブには該当する活動がないので致しません。

7. 親睦委員会報告(岩崎委員長): 斎藤副委員長と秋の親睦旅行について、次週にはプランが出せるよう検討中です。

8. ニコニコBOX(本日3名 5000円)

河合会員: 前回欠席お詫び。明日、富山大学付属病院に、健診で行きます。血液検査だけです。

岩崎会員: 森さん、北島さんようこそ。早退お詫び、稲刈りです。

山本会長: 森みちこ様ようこそ。卓話よろしくおねがいします。北島さんようこそ。

9. 委員会報告①出席委員会: 20名中10名出席(調整後55.56%)



卓話「漫画家になって」森みちこ氏

森みちこ氏: 本日は、お誘いを受け有難うございました。漫画家とは、人を楽しませる仕事と考えていますが、もう25年、井波にきて15年経ちました。京都で生まれ、井波にきていろんな方と出会い、町づくりのことでお話をする機会もあり、最後に自分の考えを述べたいと思います。

私は小さいころから、絵を描くのが好きで、ある時、着せ替え人形なんかを書いていて、母がこの絵うまいねと4歳上の姉をほめていました。実は、自分が書いたものだったので、ひょっとしたら自分は絵がうまいんだと勘違いをして、それ以来、私は絵の才能があると思いこみ、授業中などは、一杯漫画を描いていました。中学から高校へ行くとき、勉強嫌いなので、絵をかける学校ということで工業高校デザイン科に入学、母に頼んで、その延長で、美術系

の短大に2年行かせてもらいました。本格的に、漫画を描いたのは、卒業間際で、妹が借りてきた漫画本に、『ギャグ漫画大賞』賞金100万円というのが目に入り、これにつられて、締め切り3日前だったので、徹夜で書き、投稿しました。そしたら、編集部から電話が来て、作品は佳作でしたが、「ひどい漫画だけど、面白い。少し頑張れば、掲載できるものが描けるかもしれないよ。」と言われ、母に、4年制の大学に行ったつもりで、もう2年アルバイトしながら、漫画家目指して生活することを認めてもらいました。

デビューは、4コマ漫画でした。しかしその謝金、月24000円では、生活できず、東京にはなじめず、相模原市に住んで、アルバイトをしながら、出版社に投稿していました。当時の生活は、大変苦しく、お金も時間もなく、極端な話ですが、お風呂に入る時間さえなく、朝洗面所で、シャンプーをする始末でした。(この辺の様子は、仕事柄、漫画で・・・)



当時はアパート暮らしでしたが、冷蔵庫もなく、ある先輩が引っ越しをするので、古い冷蔵庫を頂けるという話に飛びつきました。近くのお風呂屋さんで借りた運搬手段の1輪車に乗せて、知人に支えてもらいながら、運びましたが、さて、2階の部屋に運ぶには大変難しそうでした。しかし、冷蔵庫ほしさで、背に腹は代えられない、なんと私一人で抱えて2階まで運んだのでした。



貧しい生活は、1回だけ友達に借金をすることも経験しました。ある時、頑張ったので缶コーヒーを飲もうと自販機前で、ポケットを探ったら 90 円しかなく、友人に 10 円を借りました。その友人とは、今でもいい付き合いをさせてもらってます。



私は 4 コマのギャグ漫画を中心に投稿して、ギャラを頂いていましたが、ある時、もっとギャラの多い長編にも挑戦しようと描いてみました。しかし、思うようにいかず、ふと自分を見つめてみて、私にはやはり 4 コマがいいと気づき、もう一度原点に戻って気持ちを切り替えてみました。そうしたら、俄然仕事に来るようになったのです。



そんな時、結婚話が出ました。彼(今の旦那さん)は、学校の同級生ですが、学生時代から付き合っていて、仕事をしながらでもいいといわれ、籍を入れて別居結婚することになりました。1年後(15年前)、娘が生まれ、井波に住むことになりました。井波は旅行するなら、いい町だなあと考えていましたが、住んでみると何もないので、気持ちが暗くなってしまいました。それでも、子育てしながら、子供が井波に溶け込んで、自然になじんでいくうちにこちらにも慣れてきました。

ある時、主人と娘に「ホテル見に行かない?」と誘われて、断ったら、帰ってきて呼び出され、暗い所に停めた車

の中も暗い中に、ホテルが飛んでいました。



また、ある時は、閑乗寺で、主人がトンボを簡単に捕まえるのを、教えてもらい、挑戦しましたが、はじめは全然できず、そのうち病みつきになり、トンボとり名人になりました。こうしていくうちに子供から教えられて、井波がだんだん好きになっていきました。知り合いも増え、井波生活も楽しくなってきました。



いろいろ、機会を頂いて、町づくりなどに発言させていただくことも多くなりました。町を盛り上げるのは、「よそ者・若者・馬鹿者」とよく言われますが、最近、これにプラスして「くノ一」と言われます。私もこれに気を良くして頑張ろうと思います。先ほどの山本会長の「寺の町アート in いなみ」にも、参加しています。

私が日頃感じることは、井波にもいろんな団体があり、それぞれパワーがあって元気もあります。ところが、ばらばらです。それぞれ、いろいろあるでしょうが、つながるともっと良くなるでしょう。盛り上がりも大きくなると思います。以上、御清聴有難うございました。

(資料・スライド・卓話を抜粋：山本)